

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	障がい者生活訓練事業(地域生活支援事業)			事業コード	0386
担当課等	所属名	保健福祉部 障がい福祉課	担当係名		
	課長名	保健福祉部 障がい福祉課長 佐々木幸司	担当者名	畑山 紀枝	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	共に歩む障がい者福祉の実現	コード 3
	基本事業	理解と交流の促進	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 3款 1項 2目 地域生活支援事業(004-03)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 9年度~)		
事務事業の概要	障がい者に対し、日常生活上必要な訓練・指導等を行う。					
根拠法令等	障害者自立支援法, 地域生活支援事業実施要綱, 市町村障害者社会参加促進事業実施要綱					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
平成9年度から市町村障害者社会参加促進事業として開始。						
この事務事業に対して関係者(市民, 議会, 事業対象者, 利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
障がいに応じた訓練は役立つとともに交流に役立っているとの声が寄せられている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
岩手県で圏域を対象とした同様の事業を行っていたが, 平成19年度に市町村に事務委譲された。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を, 何を対象としているのか)	A) 視覚障害者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 視覚障がい者数	単位	人
	B) 聴覚障害者			B. 聴覚障がい者数	単位	人
	C) 肢体不自由者			C. 肢体不自由者数	単位	人
③手段 (事務事業の内容, やり方, 手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動)	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 受講申込者数(視覚障がい者)	単位	人
	A) 岩手県視覚障害者福祉協会盛岡支部に委託し, 料理教室等を開催した。			B. 受講申込者数(聴覚障がい者)	単位	人
	B) 岩手県ろうあ協会盛岡支部に委託し, 介護講座等を実施した。 C) 盛岡市自立支援プラザに委託し, 料理教室等を開催した。			C. 受講申込者数(肢体不自由者)	単位	人
	23年度計画(23年度に計画している主な活動)					
	22年度と同様					
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	障がいに応じた訓練講座により社会生活上必要な技術を習得し, 日常生活に役立てる。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 受講修了者(視覚障がい者)	単位	人
				【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】		
				B. 受講修了者(聴覚障がい者)	単位	人
				【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】		
				C. 受講修了者(肢体不自由者)	単位	人
				【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】		
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	理解と交流が図られている	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	アンケート調査「障がい者に対する市民の理解が進んだ」と答えた市民の割合(単位: %)		
				障がい者アンケート調査「障がい者に対する市民の理解が進んだ」と答えた割合(単位: %)		

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 社会生活上必要な技術の習得を目指すもので、障がい者の社会参加を促進する上で有効である。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 事業の周知が不足しているので、広報紙やHPやメールなどを活用し、団体や施設以外の参加者を増やす工夫が必要。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 障がい者の生活訓練や情報を得る機会が減り、それに伴い障がい者の交流の機会も減る。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 最低限の事業費で事業実施しているため、事業費を減らしてしまうと、受講者のニーズに応えられない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 当事者団体に委託して開催しているため、最低限の管理事務のみである。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	その内容: 開催情報が障害者団体に所属していない方には届きにくい。広く参加できるように周知の方法に工夫が必要。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	その内容: 参加費を設定している講座については、参加者全員から同額の参加料を徴収している。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革/改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること より一層の効果を挙げるためにも、障がい者のニーズ把握と周知・募集方法について関係団体と検討を加える必要がある。</p> <p>②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか? (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む) 障がい者ニーズの把握。生活上で困っていることや情報を得たいことを委託者に当事者団体の構成員から聞き取り調査してもらい、次年度のテーマを市と協議する。今年度の講座開催の際に受講者にアンケート等を行い、情報収集する。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>障がい者の社会参加を促すために、ニーズを把握しながら、生活上必要な技術の習得に効果をあげてきた事業である。より効果的な事業とするために一層のニーズ把握と周知方法の工夫が必要である。</p>		
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 </td> <td> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>利用者のニーズ把握に努めるとともに周知・募集方法の改善を図る。</p>		<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携			